

見守りを必要としている高齢者への注意喚起をお願いします。

◆ 慌てないで！トイレ修理で思わぬ高額請求

<相談事例>

○トイレが詰まり、インターネットで検索して上位にきた業者に電話をした。修理代金は、現場を見てみないとわからないと言われたので来訪を依頼した。作業員が自宅に来て修理をしてもらったが、「便器を外して調べる」「配水管の清掃が必要」と追加工事で料金が発生すると説明があり、それに応じた。「20万円」を請求され、仕方なく支払ったが高いと思う。



<ネットやチラシの情報を鵜呑みにしないで>

○手近なチラシやインターネットの広告を鵜呑みにして、事業者修理をお願いすると、様々な理由をつけて高額な請求をされてしまうことがあります。

<トラブルを防ぐためには>

- 慌てて事業者を呼んでしまいがちですが、水道局指定業者等の複数事業者から見積もりを取って、作業内容や料金を確認しましょう。
- 現場の状況次第では、更に修理が必要な場合もあります。作業前に作業内容や金額を確認し、納得できない場合はその場で契約しないようにしましょう。
- 急を要するトラブルに備え、安心して信頼できる事業者の情報を日頃から集めておきましょう。
- 賃貸物件での修理は、貸主や管理会社にきちんと連絡してから対応しましょう。

裏面に、(独)国民生活センターの「見守り新鮮情報」をお届けします。

中野区消費生活センター 中野区中野4-8-1 (区役所1階24番窓口)
 相談受付電話 03(3389)1191 FAX 03(3389)1199
 相談受付時間 月～金曜日 9時30分～16時 (土日・祝日・年末年始は休み)
 eメールアドレス shohiseikatuseruta@city.tokyo-nakano.lg.jp

見守り 新鮮情報

備蓄用に購入していたレトルトカレーが、気が付くと**賞味期限**を**過ぎていた**。試しに一度食べたが、味に変化はなかった。まだたくさん残っているが、食べても支障はないか。(80歳代 女性)



©Kurosaki Gen

災害用の備蓄食品は 定期的に入れ替えましょう

- 災害発生時に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておきましょう。1人当たり3日分、大規模災害発生に備えるなら1週間分の備蓄があると良いとされています。
- 「賞味期限」はおいしく食べられる期限のことであり、食べられなくなる期限ではありません。適切な消費を心掛け、定期的を確認しましょう。
- 日頃から保存性の高い食品を少し多めに買い置きし、賞味期限などを考えながら計画的に使い、新たに買い足す「ローリングストック法」も有効です。

ひとこと助言

備蓄は
計画的に

